

(3) 「意思決定を取り入れた討論型の学習」実践事例

ア 実践事例「地理的分野」

第 1 学年 「世界の諸地域」 -北アメリカ州- (7/7)

本時の目標

アメリカ型の生活様式の導入が及ぼす影響に気付き、今後更に取り入れるべきかどうかを判断し、根拠を基に理由を付けて説明することができる。



本時の展開の概要

アメリカ合衆国の大規模な農業や工業の発展の原因と人々の生活や世界への影響について理解させた。その過程で、世界に広がるアメリカ型の生活様式が資源の大量消費につながったり、国(地域)の良さを薄れさせたりしている問題点についても着目させた上で意思決定を迫った。

本時に取り上げる社会的な問題【社会的な問題のパターン】

アメリカ型の生活様式を更に取り入れれば、資源を大量消費したり、国(地域)の良さが薄れたりすること【解決すべき事柄】

本時の様子

主な学習活動	教師の指導・支援
<p>○前時までの学習を振り返る。</p> <p>○学習のめあてを確認する。</p>	<p>○アメリカ型の生活様式がもたらす良さの問題点があったことを確認し、本時のめあてへと導いた。そして、これまでの学習を振り返り、これからの日本について考えることを確認した。</p>
<p>めあて 日本は、アメリカ型の生活様式を、今後更に取り入れるべきか考えよう。</p>	
<div data-bbox="143 1209 667 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>社会的な問題【解決すべき事柄】</p> <p>アメリカ型の生活様式を更に取り入れれば、資源を大量消費したり、国(地域)の良さが薄れたりすること。</p> </div> <p>○自分の主張を明確にする。</p> <p>○学習問題Ⅱを解決する。</p> <p>(1) グループ内でお互いに自分の主張を 発表し、意見を出し合う。</p> <div data-bbox="226 1697 539 1930" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <p>(2) グループで主張をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの主張の作成 ・目指す社会像についての考察 	<div data-bbox="705 1191 1177 1415" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>アメリカ型の生活様式の良さと問題点は どんなことだったかな？</p> </div> <p>○挙手によって、現段階でのそれぞれの立場の人数を確認し、学級全体の状況を生徒に把握させた。</p> <p>○事前に、同じ立場の生徒同士でグループ編成を行い、グループ内で自分の主張を出し合わせて、考えを深めさせ、それぞれの主張に対し、互いに質問をさせた。</p> <p>○話合いの中で出された意見をワークシートに記入するように指示し、各自の考えを基に、グループとしての考えを、理由を付けてまとめさせた。</p> <p>○グループでまとめた主張は、何を大切にすることになるのか、また、どのような世の中を目指すのかについても考えさせ、小型のホワイトボードに、目指す社会像、主</p>

- ・小型のホワイトボードへの記入
- ・発表者の決定

(3) グループでまとめた目指す社会像と主張を発表する。

〈学級全体〉

(4) グループごとの発表に対して質問し、自分の考えを深める。

〈学級全体〉

○「日本は、アメリカ型の生活様式を、今後更に取り入れるべきか」ということについて、最終判断をする。

(意思決定) 〈個人〉

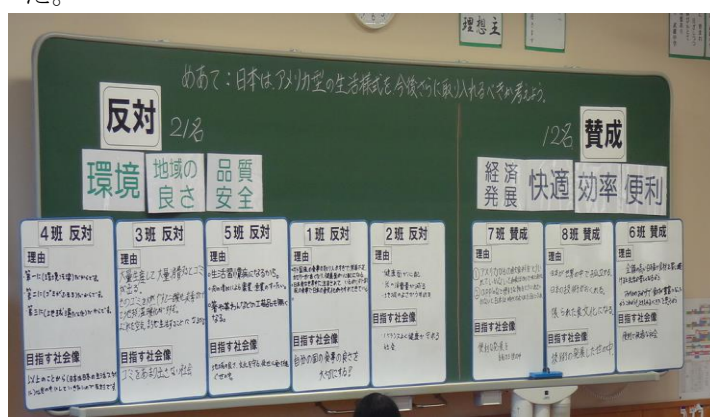
○今日の学習を振り返り、次時の学習について確認する。

〈学級全体〉

張、理由を記入させ、発表する際は、その理由や根拠となる資料を付けて発表させた。

○資料で判断したことや、グループで話し合ったことを参考に、「日本は、アメリカ型の生活様式を、今後更に取り入れるべきか」について、最終的な自分の主張をまとめさせ、これからの日本はどうあるべきかを考えさせ、ワークシートに記入させた。なお、自分の主張をまとめるに当たっては、必ずしもグループでまとめた主張に従う必要はなく、他のグループの発表等も参考にしながら、個人として判断することを確認した。

○代表の生徒数名に発表させ、今日の学習を振り返らせた。



実践を終えて（成果と課題）

【成果】

○アメリカ合衆国の特色について、良い点を中心にまとめた後、資料等を基に問題点について考えていった。自分たちの生活に身近なものとして捉えさせるために写真資料を提示したことで、その後の活動が意欲的になっていったと考える。初めから論題を設定するのではなく、生徒と共に導き出していくことで、生徒の主体的な学びにつながっていくと考える。

○班での話し合いの結果をホワイトボードに記入させ、黒板に掲示した。討論を行う際や、意思決定の場面で、他の班の意見を見ながら質問したり反論したり、自分の意見をまとめる際の参考にしたりする生徒が多く、有効であったと考えられる。

【課題】

○習得した知識を活用して、話し合いや質問、反論、最終的な記述をすることが十分にできていなかった。根拠となる資料等が視覚的に分かりやすいワークシートの工夫が必要であると考え。論題設定の場面では、賛成・反対のどちらかに意見が偏らないように、提示する資料の内容や量に配慮が必要で、その後の調査活動では、バランスよく資料を提供した。より詳しく、現実に近い付いていくためには、資料もたくさん必要になるが、生徒が混乱せず、整理ができる量を把握して提供することが必要であると考え。

指導案へ